

はじめに

学校教育においてICTの活用が推進され、年々環境も整備されてきた。教師が電子黒板やプロジェクターを用いてデジタル教科書や様々なコンテンツを提示したり、情報の収集やプレゼン資料の作成に、生徒自身がパソコンを活用するなど、教育現場での活用事例も多くみられるようになってきた。この教育のICT化は世界的な動向である。

また、諸外国の先進的な理科教育では、ICT機器としてデータロガーが導入されている。データロガーを活用した実験では、科学的思考力やデータ・グラフの分析能力の向上が期待できる。しかし、日本の理科教育では、一部のSSHや理工系の学部でデータロガーが導入されているだけで、その報告例も限られている。教科書に示されている実験例も慣例的なものが多く、実験機器のICT化にはまだまだ消極的である。

そこで、三重大学CST養成プログラムでは、データロガーの活用実践に取り組み、その教材開発も行ってきた（実験にはPASCO社のSPARK（島津理化）を使用）。実践報告では、その効果にも手ごたえを感じている。本コンテンツでは、データロガーの活用例を紹介し、より多くの学校現場で実践していただきたいと考えている。

尚、教育効果の研究のため、データロガーを活用した実験についてのアンケート調査の協力をお願いしている。**実験例を実践された方は、本コンテンツ内のアンケート調査（教師用と生徒用）を行い、結果を以下のところまで郵送して下さい。**

〒514-8507

三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学 学務部 教務チーム

CST サポート室 行

☎059-231-9949

※著作権法上の「私的使用」や「引用」の範囲を超えて当コンテンツを使用する場合には、著作権者の使用許諾が必要となります。コンテンツを許可なく複製、編集、転載することはできません。